

(1) 基本構想策定にかかる現状・課題および対応方針の整理

発言者	意見（要旨）	対応・検討の状況
岡井 会長	◇草津 PA で具体的にできることを議論すべきなのか、もう少し大きな話を議論するのが明確になっていない。 ◇バスタがおそらくできるという前提で草津 PA 周辺をどのようにしていくべきかという具体的な議論をさせていただくという理解でよいのか。	◇バスタを含めて国で交通の視点から検討していただいている。基本計画の検討においては、拠点整備にあたってどのような機能を強化していけば課題解決につながるのかを議論いただきたい。
松田 委員	◇知名度が低い、回遊がしにくいなどが周辺の課題として挙げられているが、草津 PA そのものについては客観的事実が記載されているだけで、咀嚼がない。前提条件としてどのようなポテンシャルが草津 PA にあるのかを確認したい。 ◇我々が前提とする草津 PA の制約式としては、利用台数などの現状のデータか。それを基に活用できるかを議論すればよいのか、他にも回転率などのデータが出てくるのか。	◇基本構想(案)において、草津 PA およびその周辺の現状整理として、ポテンシャルと問題点に分けて整理を行った。 ◇基本計画の検討において、国の調査と連携し、現状データ、需要予測や整備効果の調査を実施していく。なお、現状において駐車まず数は不足しているため、NEXCO 西日本において対応策を検討されている。それらを取りまとめの上、提示し議論いただきたい。
野村 委員	◇「草津 PA と連携した」とあるが、草津 PA との話があまり見えてこない。 ◇前回の検討会で、ポテンシャルを活かすためのアクションに繋がっていないとの意見があったが、企業の集積自体がポテンシャルかどうかは検討の余地がある。工場と家を往復するような通勤をしていて、勤務も 2 交代、3 交代がある。	◇草津 PA と連携した活性化の必要性については、基本構想(案)p.1 の冒頭に「構想策定にあたって」として記載した。 ◇周辺には約2万人が従業しているが、周辺には飲食や物販等の立ち寄り施設も少ない状況である。交通アクセスや導入機能によっては、大学や文化施設、びわこ文化公園等の利用者と合わせて拠点の利用者層として見込めるのではないかと考えている。基本計画の検討においては、通勤される方にとっても利用しやすい拠点となるよう、検討を深めていきたい。
奥 委員	◇もう少し地域一帯でどういったことが必要かということを検討すべきではないか。 ◇個人的には文化ゾーンはよい施設だと思う。そこをもっとアピールして、施設をうまく使うようなことを考えていけるよい。草津PAと文化ゾーンは近いので、相互利用できるような仕組みをつくっていけるとよい。 ◇この地域を利用している人からどういったものがあるといいのかを引き出ししていけるとよいのではないのか。	◇基本構想(案)においては、エリアのポテンシャルと課題を整理したのちに、それを踏まえた解決の方向性(施策の必要性)を示し、その後に将来ビジョン、基本方針という流れで整理した。基本計画の検討においては、具体的な機能を検討していきたい。 ◇文化ゾーンは利用者も多くエリアのポテンシャルとして大きなものであると認識している。一方で、施設が分散しており相互利用しにくい、といった課題も存在しており(→参考資料 p41)、基本構想(案)の中では、地域内回遊手段の確保による回遊性向上を掲げている。基本計画の検討においては、様々な交通モードによる回遊手段と、その拠点機能の検討を深めるとともに、相互利用を促進するためのソフト面での施設間連携方策についても検討していきたい。 ◇市民アンケートや施設アンケート、学生ワークショップにおいて、機能のニーズやアイデアについて調査を行った。飲食、物販、レジャー等の機能のニーズが高く、アイデアとしては、飲食や温浴、宿泊、アウトドア、休憩等の意見が多くみられた(→参考資料 p42～47)。
近藤 委員	◇弊社は南草津駅を中心にバスのダイヤを引いていて、企業や大学を軸に設定している。びわこ文化公園都市内は路線網が脆弱になっているが、拠点や人流が生まれるのであれば、バス台数が多いエリアであるため、路線の拡充もできていると思っている。	◇市民アンケートでも、「バス路線の分かりやすさの向上(運行系統の見直し・再編等)」については半数以上が「必要」「どちらかといえば必要」と回答しており(→参考資料 p.51)、市民ニーズも高くなっている。基本計画の検討において、路線網のあり方も含め、検討していきたい。 ◇バス路線の再編については、基本構想(案)の中では、「路線バスから JR への利用環境の充実」を掲げており、今後、事業者間での調整も含めて具体的な検討に進んでいきたい。
喜多 委員	◇瀬田駅からバスを運行しており、もともとは大学と駅間だけだったが、昨年から昼の時間帯には龍谷大学の後に大学病院に行く便を運行している。もう少し立命館大学のほうにつなげるなど、事業者間で調整しながら進めていければと思う。	
高橋 副会長	◇Park-PFI に対する期待を持っている。ぜひ今の施設を有効活用することを考えていかなければいけない。 ◇回遊を生むということを考えたときに、バス輸送だけの問題ではなく、草津 PA を核にして AI による交通マネジメントで人の移動が自由にしやすくなる地域にすることも考えられる。もともと目的がないところに人の動きは生まれないので、地元の方々の移動の中に飲食や物販の立ち寄りをどう作り上げていくかを考えるとよいのではないのか。草津 PA を中核とした新しい実証実験が始まっていくという流れをぜひ作っていただきたい。	◇基本構想(案)においては、基本方針の中で「地域内回遊手段の確保」を掲げている。基本計画の検討においては、訪れたいと思えるエリアとなるよう、路線バスだけでなく、自動運転や MaaS、AI による交通マネジメント等を活用した様々な交通モードによる回遊手段と、その拠点機能の検討を深めていきたい。実証実験の場としての活用も含め、今後のスケジュールについても検討したい。
岡井 会長	◇びわこ文化公園都市将来ビジョンの検討会においても、様々な施設が魅力的で評価も高いが、手段がないので回遊がないという状況で、社会実験的でもミニバスやキックボード、シェアサイクルなども含めて検討出来たらという話をしていた。公共交通が十分ではないエリアにおいては、手段を作るところから始めないといけないのではと思う。	

発言者	意見（要旨）	対応・検討の状況
野村委員	◇今現状でも、学生の通学は JR＋路線バスであり、バスが混雑し定時性確保に苦慮しており、草津 PA と高速道路を活用できれば混雑緩和できるのではと思う。そうすることで、学生が草津 PA に集まって賑わいが生まれてくる。人の移動を変えていけたらというのは将来的な話として思っている。	◇草津PAを介して高速バスと路線バス・地域内交通を接続させ、分散させることで、混雑緩和を図る方向で検討している。基本計画の検討においては、国とも連携しながら、高速バスの停車やバス路線の再編について検討を深めていきたい。
松田委員	◇びわこ文化公園都市将来ビジョンの議論でも、交通問題は以前から言われてきている。現在でも、JR 駅からだけでなく、六地蔵駅や三条、四条駅からも大学に運行している。そこで、それらのバスと電動キックボード等のびわこ文化公園都市内の近距離移動を併せて草津 PA をハブにできないかという話が挙がっていた。 ◇アウトラインの構成について、現状・課題の後に、こういうものが必要だよねという例示があって、目標、基本方針というような流れにしてはどうか。	◇基本構想(案)においては、基本方針の中で「地域内回遊手段の確保」を掲げている。基本計画の検討においては、路線バスだけでなく、自動運転や MaaS、AI による交通マネジメント等を活用した様々な交通モードによる回遊手段と、その拠点機能の検討を深めていきたい。実証実験の場としての活用も含め、今後のスケジュールについても検討したい。（再） ◇基本構想(案)においては、エリアのポテンシャルと課題を整理したのちに、それを踏まえた解決の方向性（施策の必要性）を示し、その後に将来ビジョン、基本方針という流れで整理した。（再）
岡井会長	◇立命館大学やびわこ文化公園と草津 PA をつなぎ、そこからさらに高速バスで様々なところにつながるとよい。現状ではネットワークが限定されているが、全体の中でどんなネットワークがふさわしいのか、その中で事業者が何を担うのかの順に議論できるとよい。 ◇機能については、何があるとよいかという投げかけではなく、このような機能はどうかという提案があれば発言しやすいのではないか。	◇基本計画の検討においては、地域内回遊手段と路線・高速バスネットワークのあるべき姿と役割分担についても検討を深めていきたい。 ◇機能については、基本構想(案)に基本計画に向けて検討する事項として案を示している。また、市民アンケート、施設アンケートで把握したニーズや学生ワークショップでの導入機能のアイデア等を参考にしながらご検討いただきたい(→参考資料 p42～53)。
棚橋委員	◇滋賀医科大学はあるが、民間の個人医院が少ないという点は若干不安点ではある。 ◇周辺は山手幹線の開通が迫り、若い方も多く、拠点となることで草津の中ではひらけたまちになる可能性があると思う。拠点ができて賑わいができれば、地域の中で必要なものがおのずと展開してくると思う。	◇地元のニーズについては、市民アンケートを実施したが、基本計画の検討においても把握に努めたい。必要な機能については、民間事業者ヒアリング等を通して確認しながら検討を深めたい。
塩見委員	◇路線バスネットワークの再編というキーワードを入れたほうが良い。単に拠点を整備するだけでは何も変わらない。車を利用できない、利用したくない人向けに、カーシェアよりもバスからバスに乗り継ぐことができる拠点にすることがよいと思う。そのために、県内全体でネットワークを考えられるのがよい。 ◇各大学の学生が大学を超えて交流できる場になるとよい。 ◇リダンダンシーの観点も重要。 ◇ポテンシャルをどのように活かし、どのように課題を解決する、ということが具体的に見えたほうがよい。	◇路線バスの再編については、市民アンケートにおいてもニーズが高くなっており(→参考資料 p.51)、基本計画の検討においては、路線バスの再編についても事業者との調整により検討を深めていきたい。(→基本構想 p6)。 ◇基本構想(案)の基本方針において、「エリアの住民、大学、企業の連携・交流を促進する機能の強化」を位置づけ、基本計画に向けて、「大学間連携機能」「産官学連携機能」についても検討を深めていくこととしている。 ◇リダンダンシーについては、市民からも「草津 PA を介したバスによる代替輸送」について7割以上の方が必要と回答するなどニーズが高くなっており(→参考資料 p48)、基本構想(案)においても、基本方針でリダンダンシーの確保を掲げている。 ◇基本構想(案)においては、エリアのポテンシャルと課題を整理したのちに、それを踏まえた解決の方向性（施策の必要性）を示し、その後に将来ビジョン、基本方針という流れで整理した。（再）
岡井会長	◇大学生は車を持っていない人が多く、路線バスは必須だと思う。また、大学生の交流という観点もあってよい。また、診療所が少ないとあったが、拠点といえる場所なのであればクリニックモールなども検討の余地がある。 ◇リダンダンシーの観点では JR の不通も発生しているため重要になってきている。 ◇大前提として公共交通の重視を掲げることは非常に良いことと思うが、単に公共交通の利用促進だけではなく、一般車の利用が不便なので公共交通を使う、というように仕向けることも考えられる。	◇基本構想(案)においては、基本方針において、「エリアの住民、大学、企業の連携・交流を促進する機能の強化」を位置づけ、基本計画に向けて、「大学間連携機能」「産官学連携機能」についても検討を深めていくこととしている。地元のニーズについては、市民アンケートを実施したが、基本計画の検討においても把握に努めたい。必要な機能については、民間事業者ヒアリング等を通して確認しながら検討を深めたい。（再） ◇リダンダンシーについては、市民からも「草津 PA を介したバスによる代替輸送」について7割以上の方が必要と回答するなどニーズが高くなっており(→参考資料 p48)、基本構想(案)においても、基本方針でリダンダンシーの確保を掲げている(→基本構想 p5)。（再） ◇現状、南草津駅～草津 PA エリアで駅に行くために、路線バスや一般車を利用する方の一部でも高速バスや路線バスに転換できれば、渋滞緩和に繋がリ、公共交通が利用しやすいまちになると考えている。路線の再編や定時性向上により、路線バスの利用促進も図ることができると考えられる。
野田委員	◇今後は草津市と連携して、平野南笠線の整備にも取り組んでいきたいと思っている。 ◇こういったまちを目指すというビジョンをもう少し明確に打ち出していくと、より具体的な話ができると思う。	◇平野南笠線の整備についても、当該検討にあたり重要な道路であり、渋滞緩和に資する施策として計画への位置づけを検討したい。 ◇基本構想(案)において、将来ビジョンと基本方針として、まちの目指す姿を示した。
岡井会長	◇元々PA は経由地であり目的地ではなかったが、最近の休憩施設はハイウェイオアシスのように高速を利用しないでも目的地として利用できる、利用されるようになっていく施設も多い。高速バスの利用に関しては、まずはそうしてPA に来る人を増やして、知ってもらうという観点も重要。	◇基本計画の検討においては、導入機能の検討を深めるにあたっては、市民ニーズだけでなく、学生ワークショップでのアイデア等を踏まえ、高速道路利用者からの立ち寄り利用や目的地としての利用も含めて検討していきたい。民間事業者へのヒアリング等により実現可能性も確認しつつ、エリアに適した機能を検討していきたい。
野村委員	◇防災に関して、NEXCO 西日本との協定の話を進めている。防災施設の話があるが、トイレ付きのバスなども活用しながら避難者用の休憩場所や病院への輸送に活用できないかという話を頂いている。 ◇近年は雪による被害が増えており、草津 PA に防災拠点があれば役に立つ。しっかりと進めていただきたい。	◇防災拠点機能については、市民アンケート、施設アンケートでもニーズが高くなっており(→参考資料 p48,49)、基本計画の検討においては、関連する検討状況も踏まえながら、事業者間、施設間連携で検討を深めていきたい。